

平成29年 7月 6日

各 位

ご 案 内

水産関係者との意見交換会

サンマの資源状態と漁況予報をめぐって（於：大船渡市）

向暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、我が国周辺水域資源調査・評価等推進事業並びに国際水産資源評価調査・情報提供事業に対しまして、温かいご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年度も水産研究・教育機構及び都道府県の関係試験研究機関等と共に水産庁から標記事業を受託いたしました。

また、昨年度より標記事業におきまして、漁業現場の関係者（漁業者及び流通加工業者等）の皆様との意見交換会を開催することとなり、その事務局を務めることとなりました。この意見交換会の目的は、①漁況等の現状に関する調査や解析結果をわかりやすくご説明し、現場でどのような予報が必要かの検討並びに、②資源評価や漁海況予報担当者と漁業現場の関係者が意見交換及び情報共有を行うことにより漁業現場を正確に把握することです。

このほど、別紙1～2のとおり、東北地区におけるサンマ水揚げの主要産地の一つである大船渡市におきまして、水産関係者との意見交換会を企画しましたので、ご案内申し上げます。

一般社団法人 漁業情報サービスセンター  
（水産関係者との意見交換会 事務局）

(別紙 1)

### ■開催趣旨

2010年頃からサンマの分布が沖合化し、日本近海への来遊が遅れる傾向にある。また、外国船による漁獲増加が続いている。そのような中で、一昨年7月に北太平洋漁業資源保存条約(NPFC)が発効し、昨年4月に国際資源管理に向けた資源評価がスタートし、その後も我が国を中心に精力的に資源管理にむけた努力がなされている。

サンマの資源状態や漁獲動向は漁業者のみならず加工流通産業などにとっても関心の高い課題であるところから、サンマの漁況については水産研究・教育機構が関係道県などと連携して、長期予報を毎年行っている。ここでは、サンマの長期予報に加えて、最近の調査結果や漁海況情報をわかりやすく説明し、水産関係者の皆様と意見交換することにより、資源評価や漁海況予報の改善に資することとしたい。

### ■プログラム

(別紙 2)

■参加自由ですが、事前申し込みを下記申込書にてお願いします。

#### ■参加申し込み先(大船渡地区からの参加者) :

大船渡魚市場株式会社 (担当: 中村総務課長)  
電話: 0192-26-4111 FAX: 0192-26-4131  
電子メール: tadashi-ofnt@ofunato.fm

#### ■参加申し込み先(大船渡区以外からの参加者) :

漁業情報サービスセンター 谷津明彦  
電話: 03-5547-6886 FAX: 03-5547-6881  
電子メール: sanka@jafic.or.jp

### ■参加申込書

プログラムをご覧の上、参加者氏名や団体名などを明記し、7月24日(月)までに上記申込先にファックスまたはメールでお送りください。

意見交換会（大船渡） 参加申込書

★いずれかのあて先のカッコ内に○をしてください

( ) あて先：大船渡魚市場株式会社 中村総務課長 様

( ) あて先：漁業情報サービスセンター 谷津 様

送信日： \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

送信者： \_\_\_\_\_

代表者： \_\_\_\_\_

連絡先：〒 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

電話： \_\_\_\_\_

FAX： \_\_\_\_\_

メールアドレス： \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

氏 名	所 属（会社、団体名など）：

その他連絡事項（あれば）

(別紙2)

水産関係者との意見交換会 (プログラム案)

サンマの資源状態と漁況予報をめぐって (於: 大船渡)

共催: (一社) 漁業情報サービスセンター・(研) 水産研究・教育機構 東北区水産  
研究所

後援: 大船渡魚市場株式会社・大船渡湾冷凍水産加工業協同組合・全国さんま棒受  
網漁業協同組合

日時: 2017年8月2日(水) 13:30~16:30

場所: 大船渡魚市場株式会社 多目的ホール

(大船渡市大船渡町字永沢 209 電話 0192-26-4111)

プログラム

注: 講演時間には当該講演に関する質疑と意見交換(5分程度)を含みます。

主催者挨拶: 漁業情報サービスセンター専務理事 淀江哲也 13:30~13:40

趣旨説明: サンマをめぐる海洋環境と漁業と資源変動の関係 13:40~14:10  
谷津明彦(漁業情報サービスセンター)

●話題提供・意見交換

1. 最近の東北~道東沖合域の海況経過と予測 14:10~14:40  
矢吹 崇(漁業情報サービスセンター)

(休憩 10分)

2. 2017年漁期前のサンマの資源量と分布状況について 14:50~15:30  
巢山 哲・富士泰期・木所英昭・宮本洋臣  
(水産研究・教育機構 東北区水産研究所)

3. 公海を含む本年のサンマの漁況経過と今後の来遊予測 15:30~16:00  
渡邊一功(漁業情報サービスセンター)

●全体意見交換

16:00~16:30

司会: 谷津明彦(漁業情報サービスセンター)